

6. RSLの運用

きちんとしたRSLの管理プログラムがあると、サプライヤーはさまざまなブランドの要求事項に対応したり、化学物質のリスク管理を行うことができます。AFIRMでは、効果的なRSLプログラムを運用するために、以下の手順を推奨しています。

1 内部統制とコミュニケーションを行う

- 運用のための手順を含む会社としての方針を策定し、文書化する。(付表Aを参照)
- 社内のステークホルダーと上級管理チームの承認を得る。
- 部門、またはスタッフに責任を与え、強力な統制を保證する。
- リスクにさらされる領域を特定するために、業務のリスク評価を行う。
- 実施スケジュールを決め、社内のスタッフ教育を行う。(付表Aを参照)

最も効率的な方法：新しい法律や業界標準を確認し、社内の方針や基準を、最も厳しい規制と効率的な方法に合わせる

2 生産施設と材料サプライヤーに必要事項を伝える。

- ブランドのRSLと試験要求事項を上流のサプライヤーへ送り、それを読んで理解し、その要求を満たすことができるという確認を得る。
- 供給元に対し、材料固有のリスクや基本的な化学関連法規を伝える。(AFIRM RSLと化学物質情報シートを参照)

- 全ての供給元に対して、定期的に追跡、収集、フォローアップのための、強力な注意事項の手順を作る。

- 基準に適合しないサプライヤーとの取引を停止する。

3 試験システムを決め、RSLの要求事項を遵守しているかどうかをモニターする。

- 指定された検査機関において、顧客の化学物質テストプログラムを厳密に実行するか、または、顧客のニーズやリスクに基づき、試験の必要性を検査機関に伝える。(AFIRM RSLのテストマトリックスを参照)
- 完成品や材料の制限物質をどれくらいの頻度で試験するかをシステムを決める。材料を自主的にテストすることは、顧客のテストプログラムにおいてよい結果が得られるのに効果的です。

最も効率的な方法：入荷する材料や化学品を管理する強力な内部管理システムを作ること、RSLやMRSLの基準を満たすことができます。このシステムには、入荷する材料と化学品を適切に自主検査することを含みます。

4 最も効率的な方法を採用し、継続して改良に取り組む。

- 新たな法規や業界標準を探知し、サプライチェーンと運用の継続的なリスク評価を行う。
- 顧客または業界標準から、最も関連のある要求事項を特定し、それらを独自のものとして取り入れる。
- RSLへの準拠を確実にするため、化学物質方針、適切な試験、および入荷する材料と化学品の強力な管理を組み込み、サプライチェーンと生産における化学物質のリスクを管理するための、能力、統制、プロセスを作りあげる。
- 生産において、製品がRSLを満たしたものにするため、業界に合わせたMRSL基準を採用する。